

## 議会報告会(H26.11.11～11.19 開催)アンケートの意見等

### 【意見交換のテーマ「市民アンケートの報告」について】

- 市民アンケートについては、できるだけ多くの方から回答がもらえるような方法を十分に検討されたい。
- 「市民アンケート」の回答率の低さ（4.75%）に唖然としましたが前回の回答率はどうだったのか。
- この極めて低い回答率を持って市民の声として採択できるか。
- 「市民アンケート」の手法は適切であったか。質問事項が多岐にわたり多すぎたのではないか。回答率の低さの要因ではないか。
- 「市民アンケート」の少数意見は貴重な意見と考えます。今後アンケートの分析結果を議会にどのように反映しようと考えられていますか。

**回答**このたびの市民アンケートは、議会基本条例を制定し、それに基づいて活動してきた議会の変化及び評価を、基本条例制定前と比較することを含めて確認しようとしたことから前回と同様の方法で実施しました。回答方法に返信用封筒による郵送を加えたことにより回答数は前回はわずかに上回りましたが、大きな違いはありませんでした。今後の実施にあたっては無作為抽出による個別郵送などを検討して回答率のアップを図りたいと考えます。

回答いただいた結果については、貴重なご意見として今後の議会運営等に活かしていくこととします。また議会基本条例の検証材料となり、12月議会において条例改正を行いました。

### 【議会報告会について】

- 議会の審議内容についてもう少し詳細な説明がほしかった。毎回出席者は町役員が主で、一般住民の参加が少ないと思う。アンケートの回答にもあったが、年齢層、性別、子育て世代等対応をしぼって実施されたらどうかと思う。
- 参加者が少なすぎる。一考を。わずか25人、なぜこうなるのか議論すべき。
- 校区の身近な議題について色々なことがあるのがわかった。
- 今議会として重点的に取組んでいることをもう少し詳細に話してもらえればよかった。
- 一人の人が発言をずーっとやっているが、その辺のルール作りを一番最初に言うべきだった。その人が直接聞きに行けばいい。
- テーマに則した質問が出るようにしてほしい。
- いろんなことがわかりよかった。
- ある程度、発言者に声かけも必要かと思いました。

- 異なった角度からチェックすることの必要性を感じた。
- この議会報告会をより有効なものにしなければなりません。ただ報告会を開催したというだけで終わってはいけないと思います。参加者に事前に資料等を渡しておくなどして質疑応答が活発に行えるようにすべきと考えます。

**回答**参加しにくいなどのイメージや状況を解消・打破するために、議会報告会を規定していた議会基本条例の条文を改正し、市民アンケートの回答で要望の多かった市民と議会との意見交換を主体とする場に衣替えすることとしました。親しみやすい名称の検討を初め、開催場所や進行方法等も再検討していく予定にしています。

**【議会に関する事項について】**

- 議会中継がパソコンで見れない。
- 他で問題になった政務活動費について加西市議会では問題がないか。

**回答**インターネットによる議会中継のパソコン以外の機器での視聴については、中継機器の入れ替えに合わせ、費用等を勘案しながら検討していきます。

政務活動費については、条例等で用途の範囲を定め、年度末には収支報告書を領収書原本とともに提出し、正副議長により内容の確認を行っており、適正に使用されています。また、議会ホームページで収支報告と視察報告書を公開し、市役所総合案内横では領収書の写しも含めて報告書の全てを公開しています。

**【市政及び議会に関する意見・要望・質問事項】**

○加西市に若い世代、働く世代が居住せず、市外へ流出し続けている大きな原因として、人口の身のたけに合わない消防団の問題がある。私が聞いた話によると、30代で加西市の実家へ戻ってくることが可能な人でも、加西市に住むと消防団への加入を強要されるため、消防団に加入しなくてもよい40代後半くらいまで戻ってこないことがあるそうです。私が加入している消防団には都市部から加西市内の妻の実家へ転居してきた男性がいるのですが、「加西市に来て後悔したことはあるか？」と他の人に聞かれた際に、その男性は「消防団に加入しなければならなかったこと」と即答していた。この男性はさらに「消防団に入らなくてもよい年齢まで加西市に来るべきでなかった」とも言っていました。このように消防団の存在は、若い人たちに加西市を選ばなくさせる要因となっています。「加西市以外にも消防団はある」という意見もあるが、加西市の消防団は周辺市より負担が多い。加西市の消防団定数は1418人で人口100人あたりで3.1人くらいです。加西市より人口が多い小野市は定数700人（人口100人あたりで1.4人くらい）、加西市より人口が倍近く多く面積も広い三木市でも1350人くらい（人口100人

あたりで1.7人くらいです)。西脇市も人口100人あたりで2.2人くらいでした。加西市消防団は北播の中で最も定数が多く人口当たりで加入しなければならない人数が小野市や三木市の倍になっています。加西市と同じように人口増政策に力を入れている相生市では人口3万6千人くらいで定数500人余です。人口100人あたり1.5人くらいです。加西市も人口増政策を進めるなら、若い世代の負担を減らすようにすべきです。近年は働き方も多様化し、夜勤の人も増えていますし、夫婦共働きの人も増えています。4~5月頃には消防団で礼式大会等がありますが、夜勤の人は出場者になりにくいいため団員の中で日勤者に負担が多くかかっています。私の団にも夜勤者が多く私を含め日勤者が何度も出場者に選ばれています。(私の場合は礼式大会は3回連続です。)夫婦共働きの人なら、夫が礼式訓練に約1ヶ月間毎晩のように外出してたら子育てを全て妻がしなくてはならず困っている人もいるという話も聞いた事があります。消防団改革は重要な課題だと思います。市議会で行政当局は「検討する」と言っていますが、人口流出は行政当局の検討を待ってくれません。加西市の人口増対策のためにも、議会からも消防団改革(定数削減、礼式訓練の見直し等)を強く行政当局に要求してほしいです。加西市は多くの借金があり、財政難だと言われています。消防団員の報酬や退職金として毎年多額の公費投入されているが、財政難の市に周辺市の倍にもなる定数が必要なのか財政面からも消防団改革を考えるべきです。人口増政策、財政面の両方から、消防団改革を一日も早く進めていただきたいと思います。

○獣害対策よろしくお願ひします。

**回答** 市政に関していただいた貴重なご提案、ご意見等については、執行者側に伝えるとともに、議会においては、今後の審議、調査、提言に生かしていきます。

※議会報告会の会場での質問・意見等は、「実施報告書」及び「記録」に記載していますので、そちらをご覧ください。